

第 3 期

平成 27 年度 事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日より

平成 28 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 日本釣用品工業会

## I. 一般概況

平成27年度を顧みますと、期初は円安効果が期待されましたが、その後の円高・株安により内需の回復力は弱まり、年が明けてからはマイナス金利政策等による金利の低下と円高傾向により、企業は設備投資に慎重であり個人消費も低迷を続けています。そうした中、釣具業界は5月の連休や秋のシルバーウィークが好天に恵まれ、ファミリー層を中心に釣行機会も増え市場に動きが見られたものの、まだまだ足取りが重い状況が続いています。

市場規模を見ますと、値上げによる単価の上昇等により、「小売市場規模」では前年比102.7%<sup>(※)</sup>、「国内出荷規模」では前年比102.8%<sup>(※)</sup>（※出展：第19回釣用品の国内需要動向調査報告書）が見込まれますが、釣り人口は2014年度で670万人（出展：（公財）日本生産性本部「レジャー白書2015」）と、1998年度の2,020万人をピークに減少を続けており、釣り界は、「釣り人口の拡大」と「釣り場の確保」に引き続き取り組んでいかななくてはなりません。

こうした中、当工業会は釣具市場の活性化を目指し、事業計画に基づき各委員会等の活動に積極的に取り組んでまいりました。

LOVE BLUE事業は、引き続き所謂優先三事業である「釣り場の清掃」「魚資源の放流」「釣り場の拡大」を進めてまいりましたが、今年度は独立行政法人環境再生保全機構との地球環境基金企業協働プロジェクト第1号としてつり環境ビジョン助成がスタートしました。そして、これまでの環境保全活動への貢献に対して、平成27年6月5日付で環境大臣より感謝状が授与されました。このように様々な事業に取り組んでまいりましたが今後も発展的に進めていくために、平成27年9月25日開催の第12回理事会で事業名称や委員会名を、「つり環境ビジョン」から「LOVE BLUE」へ変更することが承認されました。

J A F 事業では「Japan Fishing Show 2016」を、パシフィコ横浜にて平成28年1月29日（金）～1月31日（日）に開催いたしました。会期を1月末に移して2年目となりますが、出展社数・出展小間数は減少したものの、入場者数は前年比110.0%と増加し、初期の目的であるコアファンと業界関係者への働きかけについては一定の成果を上げることができました。来年度はさらに充実したショーにしようと、さっそく取り組んでおります。

規格・安全委員会では、ワーキンググループ（WG）を中心に、より専門的な見地から様々な課題に取り組んでおりますが、ライフジャケット安全・啓発WGでは外部の団体とも連携し、事業を進めており、成果を上げております。

市場調査委員会では、第19回釣用品の国内需要動向調査を纏め、会員皆様には経営のための一助となっておりますが、報告書の有効性をさらに高めるため活動を行っております。また、企画プロジェクトでは、釣り人口が減少している中、釣り市場拡大のための調査を実施し、釣り人口拡大のための施策「あした、釣りにこ！通信」に取り組んでおります。

また、一般社団法人に移行し3年目となりますが、公益目的支出計画に基づき、粛々と事業を行っております。

最後に、事務局では急激に事業が拡大する中で体制作りを進めてまいりましたが、新たに2名の職員が入りました。引き続き経費削減と業務の効率化に努めてまいります。

## II. 事業の実施状況

### 1. LOVE BLUE委員会

#### (1) LOVE BLUE優先三事業の適切な推進

① 参加企業累積 192社 ・ 委員会開催 11回

② 日釣振への業務委託契約書締結

③ 清掃事業の計画・準備・実施

##### i) 水中清掃事業の計画・準備・実施

【日釣工】プロダイバーによる水中清掃

客観性・透明性・公平性・必要性を基に計画・実施

全国47都道府県・各漁協との連携推進

全国7ブロックでの実施

内訳：150日（39ヵ所）

安全管理マニュアルの改定

学校教育との連携実施（1ヵ所）

【日釣振】業務委託（ボランティアダイバーによる水中清掃）

事業委託契約に基づき実施

内訳：30回（29ヵ所）

##### ii) 陸上清掃事業の計画・準備・実施（公募型を推進）

【日釣工】独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金との企業協働プロジェクト

地球環境基金 企業協働プロジェクト第一号「つり環境ビジョン助成」初年度実施

環境大臣から感謝状授与

全国8団体への助成

助成プロセスの習得（募集説明会・審査等への同席）

助成団体の活動状況の立会・取材

助成団体活動報告会（JAF2016メインステージ）初開催4団体

助成団体の活動状況のプレスリリース

④ 放流事業の計画・準備・実施

【日釣工】神奈川県栽培漁業協会とのマダイ調査放流の計画・実施

・放流実施への同行

中間育成筏への移設・全数量カウント（6/4・7/24）

東京湾口へマダイ20万尾の放流（8/8）

・放流に関する報告書の提出

【日釣振】各支部等による放流事業

事業委託契約に基づき実施

全国27都道府県33ヵ所15万3933尾等の放流を実施

- ⑤ 釣り場拡大事業の計画・準備・実施  
 初期設備投資対象の資金支援の具体的な中身等の検討中  
 【日釣工】釣り場拡大事業の施策検討・事業対象地域等の調査・準備  
 【日釣振】防波堤開放・マナー看板設置計画と清掃ボランティアへ清掃委託
- H27年度内開放予定の直江津港はH28年6月頃本開放の予定に変更
  - H27年度内開放予定の福井港は試験開放 H28年春頃、同秋頃に本開放の予定に変更
  - 事業委託契約に基づき実施
  - マナー看板設置
  - 清掃ボランティアへの清掃委託（事業実施無し）
- 【両団体】事業資金支援
- 対象地域等の進捗状況・事業計画等を基に検討・実施  
 防波堤開放 年度内見通し2ヵ所は平成28年度の開放へ
- ⑥ 優先三事業の環境整備
- 【日釣工】商標権の適切な取得
- 海外登録の計画通りの推進（16か国+EU全域 登録完了）
  - 海外申請中の適切な推進（インドネシア・ブラジル・香港・パラグアイ）
- ⑦ 平成28年度以降の優先三事業以外の事業の計画・準備【日釣工】
- (2) LOVE BLUEに関する広報活動の推進（強化）【日釣工】  
 「基本的な考え方」 継続的・安定的な広報活動へ選択と集中
- ① 日釣工ホームページ等
- 日釣工HP リニューアル完了
  - LOVE BLUE ホームページ リニューアル・スマホ対応完了  
 三事業の活動現場への取材と共に詳細レポートの更新
  - LOVE BLUE フェイスブックでの日々の活動報告
  - 平成27年度 LOVE BLUE 活動報告パンフ作成、事業報告会・参加企業・関係機関等への配布
- ② 各種新聞・雑誌・メディア等
- ・優先三事業実施に合わせたプレスリリースの実施
  - ・実施地域での地方紙・地方放送局へのプレスリリースの実施
  - ・連携団体（地球環境基金）からのプレスリリースの実施
  - ・助成団体による活動状況拡散（SNS等）
- ③ 各種イベント
- ・実施地域での地方紙へのプレスリリースの実施
  - ・環境省主催イベントへの参加（エコライフ・フェア2015 他）
  - ・J A F 2016 フィッシングショーOSAKA2016での出展・ロゴ表示等

(3) 推進体制の強化【日釣工】

- ① 日釣工内つり環境ビジョン事務局体制の充実  
・二名採用

(4) 事業資金の管理運営【日釣工】

- ① 商標使用報告の一元管理  
② 資金管理の会計監査  
③ 年次収支報告の承認（理事会）  
④ 次年度予算の承認（理事会）

2. J A F 実行委員会

(1) 「Japan Fishing Show 2016」の開催

- ① 来場者及び出展社誘致策等動員関連の計画、実施  
・6/26（金）に47社/53名の出席をいただき出展募集説明会を実施  
□出展を検討している企業へショーの企画等の説明を行い、意見交換会を実施した。
- ② 業務委託代理店の決定  
・3/5（木）にオリエンを行ない、4/2（木）5社によるプレゼンを実施した結果、運営力に評価が高かった㈱フジヤに満場一致で決定した。  
（㈱廣濟堂、ジーク㈱、㈱電通、㈱博展）
- ③ コアファンへのアピールに繋がる施策検討・実施  
・釣種別エリアに“船エリア”を加え13社の出展をいただき、船釣りの世界観を発信することが出来た。（他：バス（10社）、フライ（4社）、ソルト（8社））  
・前回に引き続き、提供メーカーの新製品がキャストできる、キャストコーナーでのフリータイムを実施
- ④ オペレーション関連の充実を図る取り組みを実施  
・基礎となる“開催マニュアル”を作成し、弁護士の指導を受けながら“出展要項”の見直しと、“運営マニュアル”の充実に努めた。
- ⑤ 新たな釣りファン開拓に繋がる企画の検討・実施  
・横浜市との協力関係を強化しながら地域に密着したショーを目指した。  
□横浜市施設（36施設）にチラシやポスターの掲示と無料チケットの配布ができた。  
□横浜市民招待の企画をおこない、多くの方に釣りの楽しさを伝える事ができた。（保育園4カ所51名、福祉施設1カ所6名付き添い除く）  
・釣りに関連しない企業/団体に積極的に招待券を配布した。
- ⑥ 小中学生の来場誘致策を検討・実施  
・小中学生無料チケットを増刷し、店頭での配布や会期までに行なわれ

たイベントで積極的に配布した。また、釣り公園、管理釣り場、横浜市施設、東京湾遊漁船などにも配布をお願いした。(赤いガプロムナード 3000 枚、バサオールスターグラフィック 1400 枚、フィッシング祭りしらこぼと 2000 枚など)

⑦ ショーの充実を図るWGの開催

- ・アトラクション計画 (6 回)、広報計画 (4 回)、動員計画 (4 回) 実施し、ショーの充実を図った。

Japan Fishing Show 2016 入場者数

開催場所: パシフィコ横浜

区 分/日付	第1日目			第2日目			第3日目			総合計			
	1/29 (金)	前年度	前年比	1/30 (土)	前年度	前年比	1/31 (日)	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	
入場者数 内訳明細	1. 釣用品関係者	1,300	1,380	94.2%	135	98	137.8%	64	46	139.1%	1,499	1,524	98.4%
	2. 一般入場者	3,246	2,762	117.5%	13,305	12,747	104.4%	15,220	13,080	116.4%	31,771	28,589	111.1%
	3. 身障者	60	66	90.9%	378	352	107.4%	374	332	112.7%	812	750	108.3%
	4. 中学生以下	68	64	106.3%	1,224	1,208	101.3%	1,545	1,409	109.7%	2,837	2,681	105.8%
	5. プレス関係者	272	357	76.2%	127	132	96.2%	95	53	179.2%	494	542	91.1%
	6. その他(招待者)	182	155	117.4%	261	213	122.5%	265	187	141.7%	708	555	127.6%
	小計	5,128	4,784	107.2%	15,430	14,750	104.8%	17,563	15,107	116.3%	38,121	34,641	110.0%
男女別	1. 男性	4,548	4,316	105.4%	12,745	12,370	103.0%	14,117	10,581	133.4%	31,410	27,267	115.2%
内訳明細	2. 女性	580	468	123.9%	2,685	2,380	112.8%	3,446	4,526	76.1%	6,711	7,374	91.0%

(2) 「Japan Fishing Show」の企画・運営に関する調査・研究

□企画プロジェクトにおいて、JAFの今後について検討をおこなった。

□海上保安庁・水産庁に出展いただき、釣りの安全・安心・マナーの啓発に努めた。

(3) 「公益目的事業」である「フィッシング フェスティバル」の開催

① 「Japan Fishing Show 2016」と同時開催の「フィッシング フェスティバル」の開催

- ・「マス釣り体験・金魚すくい・スーパボールすくい等」を実施。(3,596名参加)

② 「初心者親子釣り体験教室」の開催

- ・3月26日(土)「開成水辺フォレストスプリングス」にて実施。(21家族62名参加)

### 3. 規格・安全委員会

#### (1) 釣用品に関する日釣工規格（JAFS 基準）の制定推進

- ① 日釣工規格（JAFS 基準）の標準化に関する基本的な考え方の整理
- ② 釣糸 JAFS 基準・遵守商品の一元管理と遵守企業の会員内外拡大（WG4 回）
- ③ 釣用加工餌ガイドラインの普及
- ④ レジャー用ライフジャケットの技術基準の周知（WG11 回）
  - レジャー用ライフジャケットの性能確認試験基準の制定
- ⑤ 電動リール JAFS 基準のより良い標準化
- ⑥ 日釣工規格（JAFS 基準）管理台帳の適切な改訂
- ⑦ 規格・安全分野の専門家等の委員会などへの招聘

#### (2) 「公益目的事業」関係分野

- ① 釣用品の安全対策事業
  - 釣用品の安全表示に関するガイドラインの見直し
- ② 模倣品の消費者への啓発事業の実施
- ③ 環境保全 e マーク事業の検討・見直し（WG2 回）
- ④ ライフジャケットの安全使用に関する消費者への啓発推進
- ⑤ 釣用加工餌ガイドラインの普及（再掲）

#### (3) 釣用品業界内の喫緊の課題・新たな課題の検討・対応

- ① 必要な新ワーキンググループの設置等

#### (4) 環境保全に関する研修会・セミナーの開催

#### (5) 各種推進状況の普及・啓蒙・周知広報

- ライフジャケット新基準の業界向け説明会実施
- 正しい電池の使い方 業界向け説明会実施
- 釣糸 JAFS 基準 遵守企業名周知
- 加工餌製品安全ガイドライン・遵守企業名・製品紹介
- 膨脹式ライフジャケット無料点検実施
- 海上保安庁とのライフジャケット着用向上への取り組み

### 4. 市場調査委員会

#### (1) 第 19 回釣用品の国内需要動向調査の実施

- ① 調査内容（項目）が市場動向にあっているか見直しを実施し、報告書の有効性を高める。
  - ・疑似餌の品目別市場規模の検証をおこなった。
  - ・回答企業はソルト企業が多く構成比が高い。主要小売店にヒアリングをおこないバス市場規模の見直しをおこなった。
  - ・小売市場規模算出基準の品目別粗利率を委員の情報を基に見直しをおこなった。  
(例：釣竿 20%⇒25%、釣針 35%⇒45%。クーラー35%⇒30%など)

- ② トレンド調査の実施
  - ・ソルトルアー市場の詳細を推計するための調査を継続して実施し 37 社から回答を得た。
- ③ 意識調査の実施
  - ・今回は意識調査の実施を見送った。
- ④ 中古市場、e コマース市場の継続調査を検討、実施
  - ・中古釣用品売上高調査を実施
    - 回答社数は前回より増加したものの、大手企業からの回答が得られず、市場規模を推計するに足るデータとはならなかったが、関係者への取材結果から 80 億から 100 億の間で推移していると思われる。
  - ・e コマース売上高調査を実施
    - 24 社からの回答を得られたものの、市場規模を推計するに足るデータとはならなかった。ヒアリングでは小売市場の 5~11% までと開きがあるが、伸び続けている市場であることから、精度を上げる施策を検討することとした。
- ⑤ ホームページ等を利用した情報発信の充実
  - ・業界 3 紙、ホームページ、会員向けメールを使った情報発信を実施

## 5. 企画プロジェクト

### (1) 日釣工としてのあるべき姿の検討

- ① 日釣工のブランディングについて
  - ・㈱電通との釣り人口拡大施策「あした、釣りいこ！通信」を継続して推進しており、「いいね」数が 30,000 以上となる。
  - ・実施して行く中で得られた「副産物」を、会員企業に発表する。
  - ・上記施策と JAF2016 との連携／展開
- ② 新たなテーマの検討
  - ・JAF の今後について検討を行った。

## 6. 内外関係機関等との交流及ぶ協力

### (1) 内外主要団体との交流、情報の収集

- ① ASA・EFFTA 等との交流推進
  - ・Japan Fishing Show 2016 開催時に、EFFTA (ASA は欠席) との交流会を実施し、相互の現状の紹介と問題点の検討を行い、親睦を図った。
- ② 国内関係諸団体との交流推進
  - ・(公財) 日本釣振興会、(一社) 日本マリン事業協会、(一社) 全日本釣り団体協議会、及びジャパンゲームフィッシュ協会との交流を図った。
- ③ JFW への資金提供による釣振興事業協力の推進



- ・ JFW への資金提供による事業協力を行った。

## 7. その他の事業

### (1) 広報活動の推進

#### ① 会員への情報提供

- ・ 第 59 号 JAFTMA NEWS を復刊し、第 61 号より会員企業並びに関係者へ送付をおこなった。
- ・ 会員企業へメールによる情報発信を継続して実施した。

#### ② 日釣工ホームページの活用

- ・ JAFTMA NEWS、国内需要動向調査報告書など迅速な情報配信に努めた。

### (2) 日釣工グループ共済制度

#### ① 参加企業の減少に伴い終了（一部新サービスへの意向サポート）

#### ② PL 保険の啓発

### (3) 日本フィッシング会館（建物・什器備品）修繕計画

#### ① 長期修繕計画に基づいた修繕の実施

- ・ 非常階段水捌け修繕、非常用バッテリー更新を計画通り実施した。また、大星ビル管理㈱との「機械警備契約」を 1 年から 5 年に変更しなおし、負担金なしで機械警備機器の更新をおこなう。

#### ② 次年度修繕計画の作成

- ・ 見積額の減額により、資金繰り及び施工計画の見直しをおこない、平成 28 年度は空調機器更新&エレベーター（モータ制御装置、運行制御基盤など）の部品更新をおこなう。

### (4) 会議室の利用状況

- #### ① 日釣工での定例理事会開催及び委員会活動等の会議室の利用状況は下記表の通りとなった。

平成 27 年度 会議室利用状況表（貸出回数）

	6 階	7 階/A	7 階/B	7 階/AB	7 階/C	8 階	合計
日釣工	40	0	0	42	8	50	140
日釣振	6	0	0	30	0	18	54
その他	7	7	0	8	0	13	35
計	53	7	0	80	8	81	229

### Ⅲ. 庶務事項

#### 1. 会員の移動状況

		期 首	期中移動		期 末
			入会	退会	
正 会 員	法人・個人会員	124	1	4	121
	団 体 会 員	2	0	0	2
賛 助 会 員		5	0	1	4
総 会 員 数		131	1	5	127

注) 入会・退会会員 (承認年月日)

#### 入 会 会 員

社 名 株式会社ウィンインコーポレーテッド、ジャパン (平成27年9月25日)  
 代 表 者 タ・ビーン・ファン  
 住 所 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5-9 神田カトランビル205

#### 退 会 会 員

名 前 株式会社パトラ (平成27年9月25日)  
 代 表 者 濱中直行  
 住 所 〒103-0031 東京都江東区佐賀1-11-11 東海永代ハイツ403

名 前 株式会社ダイレイ (平成27年9月25日)  
 代 表 者 栗田義明  
 住 所 〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-4

名 前 株式会社CH0&Company (平成27年9月25日)  
 代 表 者 趙泰勇  
 住 所 〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-20 六本木けやき坂サイド3F

名 前 日本生命保険相互会社 (賛助会員) (平成27年9月25日)  
 代 表 者 林勉  
 住 所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 日本生命日比谷ビル

名 前 有限会社ウォーターハウス ヴァガボンド事業部 (平成28年3月23日)  
 代 表 者 小栗 一  
 住 所 〒610-0101 京都府城陽市平川横道6-1 2F

#### 2. 登記事項

本年度の登記はございません。

### 3. 会議の開催概要

#### (1) 総会 (通常総会 1回)

##### 第3回通常総会

平成27年6月18日(木) : 日本フィッシング会館8階会議室

出席会員数 112名	内 訳	本人・代理人出席	25名
		委任状出席	87名

##### 議案および議決結果

- 第1号議案 平成26年度事業報告に関する件(報告)  
(全会一致で可決承認)
- 第2号議案 平成26年度決算報告に関する件  
(全会一致で可決承認)
- 第3号議案 平成26年度監査報告に関する件  
(全会一致で可決承認)
- 第4号議案 平成27年度常勤役員の報酬に関する件  
(全会一致で可決承認)
- 第5号議案 特定資産取崩に関する件  
(全会一致で可決承認)
- 第6号議案 次期役員選考に関する件  
(全会一致で可決承認)

##### 報告事項

- I. 平成26年度公益目的支出計画実施報告書に関する件
- II. 平成26年度公益目的支出計画実施報告書監査報告に関する件
- III. 平成27年度事業計画に関する件
- IV. 平成27年度収支予算に関する件
- V. 委員会活動報告に関する件

#### (2) 理事会 (4回)

##### 第11回 理事会

平成27年5月27日(水) : 日本フィッシング会館8階会議室

平成26年度事業報告/決算報告/監査報告/平成26年度公益目的支出計画実施報告/公益目的支出計画実施報告に関する監査報告/規則・規定改正/常勤役員の報酬/次期役員選考/第3回通常総会審議事項/その他報告承認事項。

##### 第12回 理事会

平成27年9月25日(金) : 日本フィッシング会館8階会議室

各委員会活動報告/釣り人口拡大のための施策/入・退会会員/中間決算見通し/規則・規程改正/マイナンバー制度導入/会長・専務理事の職務執行状況報告/その他報告承認事項。

##### 第13回 理事会

平成27年12月17日(木) : 日本フィッシング会館8階会議室

各委員会活動報告/釣り人口拡大のための施策/中間決算監査報告/(4月~11月)

収支報告／入・退会会員／名義使用許諾／その他報告承認事項。

第14回 理事会

平成28年3月23日（水）：日本フィッシング会館8階会議室

平成27年度事業見込及び平成28年度事業計画／平成27年度収支計算見込及び平成28年度収支予算／会員代表者変更及び入・退会会員／会費未納会員／規則・規程改正／会長・専務理事の職務執行状況報告／役員選考委員会の欠員／その他報告承認事項。

(3) 常任理事会 (5回)

第11回 常任理事会

平成27年5月27日（水）：日本フィッシング会館7階会議室

平成26年度・事業報告／決算報告／監査報告／公益目的支出計画実施報告／公益目的支出計画監査報告／規則・規定改正／常勤役員の報酬／第3回通常総会審議事項／その他報告承認事項。

第12回 常任理事会

平成27年7月30日（水）：仙台市 ホテルメトロポリタン仙台

各委員会活動報告／釣り人口拡大のための施策／4月～6月期収支報告／入・退会会員／規則・規程改正／その他報告承認事項。

第13回 常任理事会

平成27年9月25日（金）：日本フィッシング会館7階会議室

各委員会活動報告／釣具市場拡大のための施策／入・退会会員／平成27年度中間決算見直し／規則・規程改正／マイナンバー制度導入／その他報告承認事項。

第14回 常任理事会

平成27年11月19日（木）：ホテル日航高知旭ロイヤル6階

各委員会活動報告／釣り人口拡大のための施策／JAFの今後／平成27年度中間決算監査報告／その他報告承認事項。

第15回 常任理事会

平成28年3月23日（水）：日本フィッシング会館7階会議室

平成27年度事業見込及び平成28年度事業計画／平成27年度収支計算見込及び平成28年度収支予算／会員代表者変更及び入・退会会員／会費未納会員／規則・規程改正／役員選考委員会の欠員／その他報告承認事項。

(4) 臨時 常任理事会 (3回)

臨時 常任理事会

平成27年6月18日（木）：日本フィッシング会館7階会議室

第3回通常総会議案審議／委員会活動報告／釣り人口拡大のための施策／その他報告承認事項。

臨時 常任理事会

平成27年12月17日（木）：日本フィッシング会館7階会議室

各委員会活動／釣り人口拡大のための施策／平成27年度中間決算監査報告／収支計算（4～11実績）／入・退会会員／名義使用許諾／その他報告承認事項。

臨時 常任理事会

平成28年2月25日（木）：日本フィッシング会館7階会議室

平成27年度事業実施見込及び平成28年度事業計画／平成27年度収支見込及び平成28年度収支予算／その他報告承認事項。

(5) 委員会（審議会・協議会等）

<委員会>

- ① LOVE BLUE委員会（委員会11回 事業報告会2回）  
つり環境ビジョン事業に関する、事業運営・予算管理・その他について検討。  
第27回つり環境ビジョン委員会  
平成27年4月17日（金）：日本フィッシング会館8階会議室  
第28回つり環境ビジョン委員会  
平成27年5月15日（金）：日本フィッシング会館7階会議室  
第29回つり環境ビジョン委員会  
平成27年6月19日（金）：日本フィッシング会館7階会議室  
第30回つり環境ビジョン委員会  
平成27年7月22日（水）：日本フィッシング会館7階会議室  
第31回つり環境ビジョン委員会  
平成27年8月18日（火）：日本フィッシング会館7階会議室  
第32回LOVE BLUE委員会  
平成27年10月9日（金）：日本フィッシング会館8階会議室  
第33回LOVE BLUE委員会  
平成27年11月6日（金）：日本フィッシング会館6階会議室  
第34回LOVE BLUE委員会  
平成27年12月1日（火）：日本フィッシング会館8階会議室  
第35回LOVE BLUE委員会  
平成28年1月19日（火）：日本フィッシング会館6階会議室  
平成27年度つり環境ビジョン事業報告会  
平成28年1月29日（金）：パシフィコ横浜 Japan Fishing Show 2016  
平成27年度つり環境ビジョン事業報告会  
平成28年2月5日（金）：INTEX大阪 フィッシングショーOSAKA 2016  
第36回LOVE BLUE委員会  
平成28年2月18日（木）：日本フィッシング会館8階会議室  
第37回LOVE BLUE委員会  
平成28年3月3日（木）：日本フィッシング会館8階会議室
- ② つり環境ビジョン審議会（審議会2回）  
一般社団法人日本釣用品工業会と公益財団法人日本釣振興会との共通合議体としてつり環境ビジョン事業に関する方向性について検討。  
第5回つり環境ビジョン審議会  
平成27年9月7日（月）：日本フィッシング会館7階会議室  
第6回つり環境ビジョン審議会  
平成28年2月19日（金）：日本フィッシング会館7階会議室
- ③ つり環境ビジョン協議会（協議会4回）  
一般社団法人日本釣用品工業会と公益財団法人日本釣振興会の共通合議体としてつり環境ビジョン事業に関する合意事項について検討。  
第5回つり環境ビジョン協議会  
平成27年4月8日（水）：日本フィッシング会館8階会議室  
第6回つり環境ビジョン協議会

平成27年7月24日（金）：日本フィッシング会館7階会議室  
第7回つり環境ビジョン協議会

平成27年11月9日（月）：日本フィッシング会館7階会議室  
第8回つり環境ビジョン協議会

平成28年1月20日（水）：日本フィッシング会館8階会議室

④ J A F 実行委員会（委員会11回 説明会2回）

「Japan Fishing Show 2016」開催に関する企画、運営事項、その他の件を検討。

第9回 J A F 実行委員会

平成27年4月2日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

第10回 J A F 実行委員会

平成27年4月16日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

第11回 J A F 実行委員会

平成27年5月21日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

第12回 J A F 実行委員会

平成27年6月25日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

「Japan Fishing Show 2016」出展募集説明会開催

平成27年6月26日（金）：日本フィッシング会館8階会議室  
第13回 J A F 実行委員会

平成27年7月16日（木）：新大阪丸ビル 新館500号会議室

第14回 J A F 実行委員会

平成27年9月15日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

「Japan Fishing Show 2016」出展社説明会開催

平成27年10月8日（木）：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り  
第15回 J A F 実行委員会

平成27年10月15日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

第16回 J A F 実行委員会

平成27年11月12日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

第17回 J A F 実行委員会

平成27年12月10日（木）：(株)フジヤ 京都本社会議室

第18回 J A F 実行委員会

平成28年1月14日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

第19回 J A F 実行委員会

平成28年3月17日（木）：新大阪丸ビル 新館406号会議室

⑥ 規格・安全委員会（委員会5回）

生産・規格関連（J A F S 規格（標準）統一の積極的推進／製品の業界基準（標準）積極的推進／製品安全対策関連（釣用品（製品）の安全対策事項の検討）／「釣用品の安全の表示に関するガイドライン」の見直し／膨脹式ライフジャケット啓発活動／レジャー用ライフジャケットの技術基準の周知／釣用品業界内の P L 問題の対応／知的財産対策関連／模倣品対策として、模倣品実態調査とその防止策の検討／消費者への啓発活動に関する事項／その他の件を検討。

第11回規格・安全委員会

平成27年5月19日（火）：日本フィッシング会館7階会議室

第12回規格・安全委員会

平成27年7月8日（水）：日本フィッシング会館6階会議室

第13回規格・安全委員会

平成27年9月2日（水）：新大阪丸ビル新館会議室506号

第14回規格・安全委員会

平成27年11月18日（水）：日本フィッシング会館7階会議室

第15回規格・安全委員会

平成28年3月9日（水）：日本フィッシング会館8階会議室

⑦ 市場調査委員会（委員会3回）

「第19回釣用品の国内需要動向調査」の調査と纏め/その他の件を検討。

第9回 市場調査委員会

平成27年8月7日（金）：日本フィッシング会館8階会議室

第10回 市場調査委員会

平成27年10月22日（金）：日本フィッシング会館8階会議室

第11回 市場調査委員会

平成27年12月2日（水）～3日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

⑧ 企画プロジェクト（委員会8回）

健全な日釣工としてあるべき姿の検討、業界における問題点の情報収集および課題の対応策等に関する事項、その他の件を検討。

第27回企画プロジェクト

平成27年5月15日（金）：日本フィッシング会館7階会議室

第28回企画プロジェクト

平成27年8月18日（火）：日本フィッシング会館7階会議室

第29回企画プロジェクト

平成27年10月9日（金）：日本フィッシング会館8階会議室

第30回企画プロジェクト

平成27年11月9日（月）：日本フィッシング会館8階会議室

第31回企画プロジェクト

平成27年12月1日（火）：日本フィッシング会館8階会議室

第32回企画プロジェクト

平成28年1月20日（水）：日本フィッシング会館6階会議室

第33回企画プロジェクト

平成28年2月18日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

第34回企画プロジェクト

平成28年3月3日（木）：日本フィッシング会館8階会議室

<WG>

⑨ <釣糸WG>（WG4回）

第8回釣糸WG

平成27年5月13日（水）：新大阪丸ビル 新館会議室306号

第9回釣糸WG

平成27年8月26日（水）：新大阪丸ビル 新館会議室306号

第10回釣糸WG

平成27年10月28日（水）：クレハ合繊株式会社 本社

第11回釣糸WG

平成28年2月3日（水）：新大阪丸ビル 新館会議室306号

- ⑩ <ライフジャケット安全・啓発WG> (WG11回)
- 第11回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年4月14日(火)：新大阪丸ビル 新館会議室311号
- 第12回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年5月29日(金)：日本フィッシング会館6階会議室
- 第13回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年7月6日(月)：日本フィッシング会館7階会議室
- 第14回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年7月28日(火)：日本フィッシング会館7階会議室
- 第15回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年8月25日(火)：新大阪丸ビル 新館会議室311号
- 第16回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年10月5日(月)：日本フィッシング会館7階会議室
- 第17回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年11月10日(火)：日本フィッシング会館8階会議室
- 第18回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年11月26日(木)：新大阪丸ビル 新館会議室505号
- 第19回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成27年12月18日(金)：日本フィッシング会館7階会議室
- 第20回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成28年2月17日(水)：日本フィッシング会館8階会議室
- 第21回ライフジャケット安全・啓発WG  
平成28年3月31日(木)：日本フィッシング会館8階会議室
- ⑪ <環境保全eマーク事業検討WG> (WG2回)
- 第2回環境保全eマーク事業検討WG  
平成27年5月26日(火)：日本フィッシング会館7階会議室
- 第3回環境保全eマーク事業検討WG  
平成27年7月15日(水)：日本フィッシング会館7階会議室
- ⑫ <ワーム環境対策検討会議> (1回)
- ワーム環境対策検討会議  
平成27年12月14日(月)：日本フィッシング会館8階会議室
- ⑬ <企画プロジェクトWG> (WG12回)
- 第5回編集会議  
平成27年4月17日(金)：株式会社電通 本社
- 第6回編集会議  
平成27年5月14日(木)：株式会社電通 本社
- 第7回編集会議  
平成27年6月12日(金)：株式会社電通 本社
- 第8回編集会議  
平成27年7月10日(金)：株式会社電通 本社
- 第9回編集会議  
平成27年8月18日(火)：日本フィッシング会館7階会議室
- 第10回編集会議  
平成27年9月14日(月)：株式会社電通 本社



第11回編集会議

平成27年10月16日（金）：株式会社電通 本社

第12回編集会議

平成27年11月13日（金）：株式会社電通 本社

第13回編集会議

平成27年12月16日（水）：株式会社電通 本社

第14回編集会議

平成28年1月19日（火）：日本フィッシング会館6階会議室

第15回編集会議

平成28年2月10日（水）：LUSH LIFE daikanyama  
（東京都渋谷区）

第16回編集会議

平成28年3月11日（金）：株式会社電通 本社

⑭ < J A F 広報計画WG > (WG4回)

第3回：平成27年6月9日（火） 日本フィッシング会館6階大会議室

第4回：平成27年7月14日（火） 日本フィッシング会館6階大会議室

第5回：平成27年9月1日（火） 日本フィッシング会館6階大会議室

第6回：平成28年2月18日（木） 日本フィッシング会館7階大会議室

⑮ < J A F アトラクション計画WG > (WG6回)

第4回：平成27年6月10日（水） 日本フィッシング会館6階大会議室

第5回：平成27年7月13日（月） 日本フィッシング会館6階大会議室

第6回：平成27年9月7日（月） 日本フィッシング会館6階大会議室

第7回：平成27年10月14日（水） 日本フィッシング会館6階大会議室

第8回：平成27年11月5日（木） 日本フィッシング会館6階大会議室

第9回：平成28年2月15日（月） 日本フィッシング会館6階大会議室

⑯ < J A F 動員計画WG > (WG4回)

第5回：平成27年6月19日（金） 新大阪丸ビル新館609B会議室

第6回：平成27年7月10日（金） 新大阪丸ビル新館209A会議室

第7回：平成27年9月4日（金） 新大阪丸ビル新館312会議室

第8回：平成28年2月24日（水） 新大阪丸ビル新館309会議室

表 括 総 議 会

会議名	平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月	3月	合計
通常総会			第3回										1
理事會		第11回				第12回			第13回			第14回	4
常任理事會		第11回	臨時	第12回		第13回		第14回	臨時		臨時	第15回	8
つり環境ビジョン委員会	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回								5
LOVE BLUE委員会							第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	6
事業報告会										事業報告会	事業報告会		2
つり環境ビジョン審議会											第6回		2
つり環境ビジョン協議会	第5回			第6回				第7回		第8回			4
JAF実行委員会	第9・10回	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	第16回	第17回	第18回		第19回	11
説明会			出席募集 説明会				出席社 説明会						2
JAF広報計画WG			第3回	第4回	第5回						第6回		4
JAFアトラクション計画WG			第4回	第5回	第6回		第7回	第8回			第9回		6
JAF動員計画WG			第5回	第6回	第7回						第8回		4
規格・安全委員会		第11回		第12回		第13回		第14回				第15回	5
釣糸WG		第8回			第9回		第10回				第11回		4
釣用加工餌安全基準WG						第5回							1
ライフジャケット安全・啓発WG	第11回	第12回		第13・14回	第15回		第16回	第17・18回	第19回		第20回	第21回	11
eマーク検討WG		第2回		第3回									2
フーム環境対策検討会議									臨時				1
市場調査委員会					第9回		第10回		第11回				3
企画プロジェクト		第27回			第28回		第29回	第30回	第31回	第32回	第33回	第34回	8
企画プロジェクトWG (編集会議)	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	12
計	6	10	9	12	6	10	9	10	9	6	11	8	106